

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 北名古屋市ひまわり西園		
○保護者評価実施期間	R7年1月1日 ～ R7年1月31日		
○保護者評価有効回答数		26 (回答者数)	24
○従業者評価実施期間	R7年1月1日 ～ R7年1月31日		
○従業者評価有効回答数		12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士の連携	・必要とされる子ども支援、保護者支援については、情報を含め早目に情報共有を職員会議などでしています。 ・子ども一人ひとりに合った支援方法を計画をし、保護者の確認のもと、実行、評価、改善（見直し）をしています。	・より職員間の連携を図り支援につなげていきたいと思います。 ・保護者とのモニタリングで保護者の気持ちが出しやすい状況を作りながら、その情報や支援を職員間で周知をしていく。
2	保護者支援、家族支援	・親子療育を通して、職員と一緒に考えることを繰り返しながら実体験をする。 ・親子同士が信頼し合えるよい関係を作っていきます。 ・園児だけでなく、家族の相談を受けアドバイスや必要とする機関につなげています。	指導機関として青い鳥医療療育センターの療育担任に年に2回実際に来園してもらい、よりよい支援ができるための支援方法の検討や療育指導をいただいています。さらに家族を取り巻く様々な支援についても把握とともに支援へと常毛ていきます。
3	専門家による療育指導や療育相談	・月に一度程度、臨床心理士や言語聴覚士による発達相談があります。また、2か月に一度程度、作業療法士による療育指導や療育相談があります。相談したい時に園で相談をしていただいています。	専門家が来園される貴重な時間をよりよい検討会になるようにする。
4	駐車場	・かなり広い駐車場が敷地内にあることで、親子登園の様子や駐車場や子どもを乗車させる際などの困りごとにも迅速に対応しています。	地面が砂利になっているので、ベビーカーを使用する場合にもスムーズに走行できるようコンクリートになるとよい。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備	・保育園の跡地に親子療育をすことになって、駐車場を広げてもらったり、大人のトイレを増やしてもらったりした。利用される親子にとって、トイレが暗い、トイレが狭いなどのが上げられる。	・電灯のワット数を上げて設置してみる。また、トイレが狭い点については、役所と相談しながら改善方法や改善に向けて考えていく。
2			
3			